

2024年度 第4回東大本番レベル模試 世界史 採点基準

※以下の加点ポイントは目安です（加点ポイントは< >でくくり、得点として+1を付けています）。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

※学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

第1問 第二次世界大戦後のドイツと日本 （配点 20点）

※下線は指定語句

問(1) 配点 12点

1 第二次世界大戦後の西ドイツ ※6点満点

- ① ドイツが米英仏ソに分割占領されたこと…1点
- ② ニュルンベルクに国際軍事裁判所が設置されたこと…1点
- ③ 非ナチ化と民主化が進められたこと…1点
- ④ 西側占領地区で通貨改革が行われたこと…1点
- ⑤ ④に対抗して、ソ連がベルリン封鎖を実施したこと…1点
- ⑥ アデナウアーが首相となったことを背景に、ドイツの経済が復興したこと…1点
- ⑦ パリ協定が結ばれ、再軍備したこと…1点

2 第二次世界大戦後の日本 ※6点満点

- ① アメリカによる単独占領を受けたこと…1点
- ② 東京に国際軍事裁判所が設置されたこと…1点
- ③ 非軍事化と民主的改革が進められたこと…1点
- ④ 戦争放棄をうたう日本国憲法が公布されたこと…1点
- ⑤ 朝鮮戦争によって特需が起これば経済復興したこと…1点
- ⑥ サンフランシスコ平和条約によって主権を回復したこと…1点
- ⑦ ⑥と同時に日米安全保障条約を締結したこと…1点

問(2) 配点 8点

- ① <政治>ソ連の政治体制にならって、人民民主主義が採用されたこと…2点
- ② <経済>マーシャル=プランに対抗して、経済相互援助会議に加盟したこと…2点
- ③ <軍事>西ドイツの北大西洋条約機構に加盟に対抗して、ワルシャワ条約機構に加盟したこと…2点

・論理構成点（＝上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1を付けている。加点されない場合は数字なし）

- ① すべての加点ポイントを満たしていれば2点

第2問 権力への抵抗 (配点20点)

※加点ポイントをすべて満たしていても、それ以外に明白な誤りがある場合は満点を与えない。

※加点ポイントの合計が満点に達しても、設問全体の必須事項が欠けている場合は、満点を与えない。

問1(b) 5点満点

- ① ローマ軍の中心が、中小農民を中心とする重装歩兵であったこと…1点
- ② 征服戦争が繰り返されたことにより、中小農民が無産市民化したこと…1点
- ③ グラックス兄弟が自作農再建を図ったが、失敗したこと…1点
- ④ マリウスが軍制改革を行ったこと…1点
- ⑤ 平民派のマリウス（閥族派のスラ）のように、有力者たちが②を私兵化したこと…1点

問2(a) 3点満点

- ① 「ジョン=ボールを思想的指導者とする農民反乱」：ワット=タイラーの乱…1点
- ② 荘園制が衰退していたこと…1点
- ③ 領主が農民支配を強化しようとしたこと…1点
- ④ 農民が農奴制の廃止を求めたこと…1点

問2(b) 4点満点

- ① 19世紀半ばに始まる反乱は、キリスト教系の結社である上帝会（拝上帝会）が中心であったこと…1点
- ② 19世紀半ばに始まる反乱が、清朝打倒を目的としていること…1点
- ③ 19世紀後半に始まる反乱は、白蓮教系である義和団が中心であったこと…1点
- ④ ③が清朝を支持していること…1点
- ⑤ ③がキリスト教の排斥を主張したこと…1点

問3(a) 3点満点

- ① 日本の韓国保護国化以降、義兵闘争に一般民衆も加わったこと…1点
※「義兵闘争が起こった」のみは加点しない（義兵闘争の開始は1896年のため）。
- ② 韓国軍解散後、兵士も①に加わったこと…1点
- ③ （第一次世界大戦後に）三・一独立運動が起こったこと…1点

問3(b) 3点満点

- ① 「インドの民族運動の中心的存在となっていた政党（政治組織）」：国民会議派…1点
- ② 「1920年代末に開かれた大会」：ラホール大会…1点
- ③ 中心的指導者であったネルーのもと、②でプールナ=スワラージが主張されたこと…1点

第3問 科学の歴史 (配点 20 点)

※各 2 点

※漢字の誤り、ひらがな表記は不可

問(5) ベーコン 不可

以上